



学校だより

12月号

令和2年11月30日

さいたま市立植竹小学校

〒331-0813 さいたま市北区植竹町2-1

TEL 048-663-7627

FAX 048-663-9885

E-mail uetake-e@saitama-city.ed.jp

学校教育目標 ○すすんでまなぶ子 ○たすけあう子 ○げんきな子

児童数 746名

地域一丸となって

校長 野津 美智代

11月2日(月)に学校評議員・学校関係者評価委員会を開催いたしました。この委員会は、学校が保護者や地域住民等の信頼に応え、家庭や地域が一体となって子どもの健やかな成長を図り、地域に開かれた学校づくりを推進していくため、また、学校の自己評価の適切さについて評価するために設置されています。当日は、本校の学校経営方針、学校評価、令和4年度から実施されるコミュニティー・スクールについて、協議いたしました。協議の中では、コロナ禍で児童と向き合う教職員への労いの言葉をいただき、教職員にとってとても励みになりました。協議後は、児童の授業の様子を参観いただきました。御記入いただいた感想用紙の中には『地域一丸となってこの時期を乗り越え、平穏な日常を取り戻せることを願っています。』という一文が記されておりました。

感想を読ませていただき、以前に聞いた私の知人の話を思い出しました。

浅間山の麓に住む知人の娘さんが小学生の頃のお話です。浅間山に小噴火が起こり、学校で説明会を開いた時のことだそうです。最近転入してきた保護者が、学校側に子どもたちの登下校の安全をどう守ってくれるのかと強く求めたことに対して、長く地元に住んでいる私の知人が挙手し、こう述べたそうです。

『おれたちが小学生の頃は、通学班の班長から、もし浅間山が噴火したら、周りにいる自分より小さな学年の子を連れて、近くの家避難するよう教えられてきた。自分の両親からは、毎日、浅間山の煙の立ち方や噴煙の向きをよく見るよう言い聞かせられてきた。おれたちが住むずっと前から浅間山はある。おれたちは浅間山が活火山であることを知ってここに住んでいる。浅間山の自然と共に生きているんだ。だから、学校だけに任せるのではなく、おれたち大人も、自分たちの命は自分たちで守る方法を子どもたちに伝え、教えていかなければならないんだ。』

本校にも子どもたちや教職員を全力で応援して下さるととても温かな地域の方々がいっぱいやることにたいへん嬉しく思います。今年度の学校評議員と学校関係者評価委員の方々を御紹介いたします。1年間、どうぞよろしく願いいたします。

【学校評議員】

竹栄会会長 薄田 隆夫 様
土呂町自治会副会長 薄田 守利 様
植竹一丁目自治会長 金杉敬之介 様
盆栽町町会会長 嶋津 洋子 様
植竹2丁目自治会長 高原恵美子 様
植竹公民館館長 田中 豊治 様
青少年育成植竹地区会会長 蝦名るみ子 様
防犯ボランティア 野村 洋治 様
植竹小ボランティアリーダー 浅川 光行 様
植竹小元PTA会長 窪田 博 様

【学校関係者評価委員】

元小学校長・チャレンジ実行委員長 坂井 俊夫 様
植竹幼稚園長 福島 豊 様
植竹児童センター所長 後藤 桂子 様
ぼんさい遊々会長 山田 香織 様
青少年育成植竹地区会顧問 有賀 覚 様
教員ボランティア・チャレンジスクール 宮田由里子 様
植竹地区主任児童委員 村田 伸子 様
植竹小PTA会長 茂手木 真 様